

# ～ 進路決定に向けた三年間の行動目標 ～

コザ高生として過ごす3年間、自分の進路について何をどう考え、いかに行動すべきだろう！？  
次にあげる行動目標を意識して、高校生活をより充実したものにしていこう！

## ☆ 1年・・・「コザ高生になる」

	具体的な目標と、目標達成のための行動
1 学 期	<b>コザ高生の生活をつくる</b> コザ高生としての生活リズム、時間の使い方、授業の受け方、講座・模試の受け方、教科ごとの学習の仕方、及びコザ高校で学ぶ意味を理解する。
夏 休 み	<b>高校生になった自分確かめる</b> 初めての高校生活を振り返り、できたこと、できなかったこと、分かったこと、分からなかったことを整理する。分からずに済ませたことや分かった気になってしまっていたことは、補完・強化する。学習方法に不安がある生徒は、得意な友だちや教科担任から教わる。
2 学 期	<b>働く意味を知り、職業観の形成に挑む</b> 働く意味や働き方について調査・研究しインターンシップに臨む。また、インターンシップを通じて、働く意味や遣り甲斐、そして苦労等を感じ取り、自分なりの職業観をつくる。
冬 休 み	<b>コザ高生になった自分確かめ、希望進路を概観する。</b> コザ高生としての誇りが持てる生活を確認し、学習以外の+1も含め、2学期の自分を振り返る。なりたい仕事に就くためのルートを調査し、家族とよく相談し、希望進路を概観する。
3 学 期	<b>高校生の進路対策を理解するために、卒業後の選択肢を具体的に調べる。</b> 主体的に進路対策に取り組めるよう、現段階での将来像や職業観に照らし、興味がある学部・学科・大学等を調べる。県内進学(就職)と県外進学(就職)の違いも調べる。
春 休 み	<b>1年間の成長を確かめる</b> 1年間の学習の成果と課題、及び来年の目標と将来への希望を整理し、2年生になる準備をする。学習の基礎・基本を強化する。

## ☆ 2年・・・「希望進路を決定する」

	具体的な目標と、目標達成のための行動
1 学 期	<b>希望進路を概観する</b> 国公立大学と私立大学、県内大学と県外大学、大学と専門学校の違いを調べ、現段階での希望進路に合った進路目標を設定する。進学説明会やガイダンスを活用する。
夏 休 み	<b>希望進路を確かめる</b> オープンキャンパスや学校説明会に参加したり、理想の先輩や目標になる大人と交流したりして、希望進路を確認する。希望進路実現のために、学習の積み残しを補完・強化する。講座を有効に活用する。
2 学 期	<b>3年生の動きをよく見て、希望進路実現のためのプランを立てる</b> 希望の学部・学科、業種・職種を調べ、どの受験方法でどの大学に挑むのかを周囲に相談し、志望校を、5～10校程度に絞り込む。約1年後に迎える受験を見通し、1年間の受験対策プランを立てる。

具体的な目標と、目標達成のための行動	
冬 休 み	<b>進路決定のための3学期の準備をする</b> 1年間の受験プランを再確認し、時間の使い方を点検する。志願理由書を書いてみる。3年生に話を聞く。受験方法に対する自分の力を客観的に判断する。
3 学 期	<b>希望進路を決定する</b> 希望進路を5校程度に絞り、自分に合った受験方法(AO・推薦・一般など)を決定する。受験及び入学にともなう経費について保護者と十分に話し合う。
春 休 み	<b>進路実現の心構えを確認する</b> 最終学年に向けて時間の使い方や生活のづくり方を再確認し、授業・講座・模試の受け方や家庭学習への取り組み方などを具体的に計画する。

## ☆ 3年・・・「希望進路を実現する」

具体的な目標と、目標達成のための行動	
1 学 期	<b>受験を意識した具体的対策に取り組む</b> 4月から受験生の生活をつくる。全ての教室が、落ち着いて学習に取り組めるよう、HR内に自覚的学習の雰囲気をつくる。志願理由書を仕上げる。小論文を実際に書く。
夏 休 み	<b>AO入試・推薦入試の万全の準備と一般入試の準備に計画的に取り組む。</b> 講座や家庭学習を有効に組み合わせ、長期休暇で苦手科目の克服と得意科目の強化に取り組む。小論文対策のための材料を十分に仕入れる。過去問題に取り組む。
2 学 期	<b>第一志望実現のための万全の準備に取り組む</b> 各自の受験準備と同時に、落ち着いた学習環境づくりにHRや学年で取り組む。また、進路決定者が未決定者を支援できるよう、受験を団体戦で乗り切れることを意識しその雰囲気をつくる。
冬 休 み	<b>センター試験直前対策・一般入試対策</b> 体調管理を十分にし、受験までの日程や渡航計画などを確認する。直前講座や家庭学習に徹底して取り組み、受験に必要な学力を補強する。
3 学 期	<b>最後まであきらめずに目標に挑み誇り高く卒業する</b> 最後まで進路実現のための努力を続ける。また、大学の課題にきちんと取り組み、卒業後の生活に向けて必要な準備をする。特に浪人予定者は、進路指導部やHR担任と十分に相談をする。

